

# 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり

島田駅前校

令和5年11月16日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・学習するスペース、製作をするスペースなどを分けて活動している。 ・個室があるためクールダウンもできている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・児童福祉法に基づき必要な職員数を配置している。 ・場合によっては1対1の対応を行っている。 ・児童1.7:職員1(令和5年9月)
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・校舎内は玄関以外はバリアフリーになっている。 ・外にある2、3段の階段は、転倒につながらないように気をつけて支援している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			・利用児のモニタリング、支援会議で職員間の意見交換をおこなっている。 ・昼礼等で職員同士での話し合いや、振り返りをおこなっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者とは、口頭や連絡ノートにて連絡を取り情報交換を図っている。 ・職員間でも報・連・相に努めている。 ・保護者アンケートをおこなった。(今年は10月)
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・令和5年12月公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後外部評価をしてもらい、業務改善につなげたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・校舎では動画研修をおこない、利用児の特性の理解を深めた。 ・SpecialLearningを導入して研修をしている。 ・今後はもっと専門的なものにしていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントは適宜に取り、見直しをおこなっている。 ・保護者面談の内容を職員間で周知し、利用児一人一人の現在の課題や支援の見直しに繋げている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・校舎独自のツールを使用している。 ・行動・学習・コミュニケーション・強み・今後の課題等の項目に分けアセスメントをおこなっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・月単位で計画を立て、その日の天気や利用児の状況に合わせて活動の見直しをおこなっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・利用児の特性に配慮することで、活動が固定化してしまうことが多々ある。 ・工作などは、利用児の利用に合わせて数回に分けている。 ・季節に合わせたプログラムを準備している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・利用児にとって安全であるかということや、利用児の特性を鑑み、職員間で話し合いをし活動決定している。 ・利用児が楽しめるようなプログラムを組んでいる。 ・長期休暇の時は事前に午前・午後でプログラムを分けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用児の特性や利用人数、職員の配置等全て考慮し決定している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・利用人数や利用児の最近の現われ、職員の配置等全て確認を取っている。 ・安全を第一に考慮している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・利用児の様子で気になったことや気付いたことは、職員間で共有し次からの支援の参考にしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ケース記録を記入し、各職員と情報共有をしている。 ・記録をし、毎日目を通す事で改善できている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・相談支援センターと連携し、定期的に情報交換をおこなっている。 ・課題を早期に見つけられるよう努めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・個々の状況にあわせた発達支援を行い、健全な育成を行えるよう、支援している。又保護者の悩みや相談を受け入れ、保護者支援も随時行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者、学校、他事業所等と連携をとり、トラブル回避に努めている。 ・ホームページ活用や送迎時に聞き取りを行っている。 ・送迎時、担当職員と情報交換を行っている ・学校と連携し、必要に応じて情報をいただいている。 ・下校後に傷や痣の確認は、気をつけておこなっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・今現在医療的ケアが必要な利用児はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・利用児が通っていた保育園、幼稚園で連携できている園とそうでない園があるため、連携を深めていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・直接、情報提供はしていないが、児童の相談事業所に情報を送り、そこで成人の相談事業所で引継ぎをおこなっている。 ・今後、いつでも情報提供できるように準備を進めておく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修には積極的に参加している。 ・成人の方面との連携も更に取り、今後につなげていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・交流はないが、公園、イベント、見学行事等で関わりをもつ機会がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・研修には責任者だけでなく、常勤職員が参加する機会も設けている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・保護者アンケート、モニタリング、相談支援等で利用児の成長、及び課題の共有をしている。 ・連絡帳や帰宅の引き渡し時に、保護者にその日の様子やがんばっていることは伝えるようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・保護者からの話しはどんな内容でも聞くようにしている。 ・レスパイトケアで放デイを利用してもらっている。 ・トレーニングは研修後に実地していきたい。
保護者への説明責任	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に重要事項説明書の説明必ず行っている。 ・内容に変更があった時は速やかに保護者に伝えている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者から相談があった際には、適切な保護者支援がおこなえるよう努めている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・今年度は保護者会とイベントを組み合わせ、親子で楽しめる活動になるようおこなった。 ・年に一度は保護者会を開催しているが、欠席率が高いため保護者同士が連携を取れるまではいっていない。課題として捉えていきたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応は迅速に対応している。 ・保護者への十分な説明を心掛け、丁寧におこなっている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ひまわり通信やインスタグラムを通じ、保護者に明確な情報を伝えることができるよう工夫している。 ・ひまわり通信だけでは掲載できない写真はまとめてCDに焼き、利用児一人一人に誕生日プレゼントとして渡している。

一 等	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱い契約書に署名いただき、同意を得ている。</li> <li>・個人情報取り扱いに関する規定を定めている。</li> </ul>
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児から発するトイレサインを見落とさないよう努めている。</li> <li>・絵カードや写真を使用して、視覚的に捉えやすい支援を行っている。</li> <li>・保護者とは連絡ノートの活用や送迎時の情報共有をおこなっている。</li> </ul>
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の招待はおこなっていない。</li> <li>・地域で買い物体験をおこなっている。</li> <li>・公園のごみ拾い清掃を、毎年年末におこなっている。</li> <li>・ボランティアの受け入れは随時おこなっている。</li> </ul>
非 常 事 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応については、毎年保護者会で説明をおこなっている。</li> <li>・職員間でマニュアルの確認を習慣化していきたい。</li> </ul>
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に3度以上、災害内容を変え利用児と職員で避難訓練をおこなっている。</li> <li>・行政の研修を利用児と職員で受けている。</li> <li>・利用児宅から預かった非常食と、校舎内の備蓄品の期限の点検をおこなっている。</li> </ul>
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修用の動画を用いて職員研修をおこなった。</li> <li>・繰り返しの研修をおこない、知識の定着化に努めている。</li> </ul>
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束については、個別支援計画に拘束事項は記載し、面談時保護者への説明はきちんとおこなっている。</li> <li>・身体拘束が必要なくなった場合も、面談時に説明するようにしている。</li> </ul>
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在、医師の指示書が必要な食物アレルギーを持つ利用児はいない。</li> <li>・契約時に食物アレルギーの有無を保護者から聞き取り、アセスメントシートに記入している。</li> </ul>
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット有事の時には当日中に記載し、カンファレンスで職員への周知につなげている。</li> </ul>